



# 秋厚労ニュース

NO1795号

2017年10月2日  
秋田県厚生連労働組合  
秋田市山王5-4-2  
TEL 018(864)3341  
FAX 018(864)3349

# 苦しめられた15年

## 固定比率100%超

2003年から15年間。秋田県厚生連で働く仲間たちは、「固定比率」にずいぶん苦しめられました。昨年度100%を達成したことで、「足かせ」が1つ外れたことは確かです。



東北農政局との交渉（2007年7月3日）

## 秋厚労 2005年から農林水産省と3回交渉

21世紀に入ってから、まもなく、小泉内閣の「構造改革」が推し進められる中、「農林漁業金融公庫」から融資を得る際の「しぼり」が表面化します。「固定比率」問題の始まりです。「固定比率」は、固定資産に占める自己資本の割合。農協を管轄する農林水産省は、「返す力をつけてから借金しろ」と、各県の厚生連に、これを100%にすることを求めました。

### 委託化の根拠にも

また、2003年11月、固定比率に関連して、秋田県厚生連が農林水産省に提出した「経営・財務

### 農水省 人件費を削れとは言っていない

秋田県厚生連の経営者は、働く者の要求に対して、「固定比率100%達成す

これらの動きに対して、秋厚労は東京や仙台にも出向き、農林水産省との交渉も3回行いました（2005年11月17日・日本医労連主催、2006年3月14日・秋厚労単

長（当時）は「固定比率100%達成後の課題」について触れ、「何が出来るかについて、とりあえず平成29年度、58才以上の職員の賞与を8割に引き上げる事なら出来る」と考えた」と発言しました。昨年度、秋田県厚生連の固定比率は107.7%。職場の仲間たちは、実に15年間、この「固定比率問題」に苦しめられたことになりました。

7月3日・東北農政局・単独交渉）。農林水産省は、どの交渉においても「我々は厚生連に実行可能な計画をつくるように指導しているが、『人件費を削れ』とは言っていない」と答えています。

### 課題の優先順位を

今年6月15日の団体交渉で、佐藤理事

改善計画」には、「定期昇給・本俸・調整手当及び徹底した職員採用計画・人員配置の見直し、検査・給食・事務部門等の外注化を進め人件費総枠を堅持」という文言が・・・。固定比率は「委託化」を推し進める根拠としても使われました。

秋田県厚生連の固定比率の推移(%)

